

「共通語としての英語」と文化を考える：
多文化共生時代にはどんな英語が必要か
“English as a Lingua Franca” and Cultures

What English should we consider using to work with people from different cultures?

世界でグローバル化が進むなか、英語の使われ方は大きく変化しています。私たちの活動の多くが日本だけでは進められない時代に、多国籍の人と協力して生きることが不可欠になっているからです。そして、英語は多様な文化や言語の人と良い関係を築き、協力するための「共通語」として使われています。

このワークショップでは、まず世界で英語の果たす役割が劇的に変化していることを概観します。そして、多国籍の人と意思疎通をするための「共通語としての英語」が従来の英語とどう違うかを、特に異文化コミュニケーションに焦点をあてて議論し、意見を交換します。そして、実際に英語を使う体験をしながら「共通語としての英語」についての理解を深め、国際コミュニケーションのあらゆる場面で重要な「文化の違い」に配慮した、英語のコミュニケーションの方法を考えます。

参加者のグループワークなどを交えながらの、インタラクティブなワークショップです。使用言語は英語と日本語です。英語のレベルは問いませんが、英語を他の参加者といっしょに実際に使ってください。

講師：瀧野みゆき 先生

(東京大学・立教女学院短期大学 非常勤講師)

日本や中国でアメリカや日本の企業で働いたのち、イギリスに16年間住み、2016年に帰国、以来大学等で英語を教える。現在、東京大学、中央大学、日本大学などで主にビジネスや仕事で英語を効果的に使ったための、英語コミュニケーションを教える。アメリカペンシルバニア大学・マーケティングMBA、国際関係MA、イギリスサウサンプトン大学・応用言語学博士



日時：2019年6月14日(金) 18:30 - 20:00

場所：東京家政大学 板橋キャンパス 161A講義室

(〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 16号館1階)

申し込み：下記のリンク、または右のQRコードよりお願いいたします。

<<https://forms.gle/7QzozaGSW7QHJMLM8>>

お問い合わせ：東京家政大学英語コミュニケーション学科 (eigo@tokyo-kasei.ac.jp)



要申込

東京家政大学 FD イベント

CRED×英語コミュニケーション学科×グローバル教育センター共催連続セミナー

「共通語としての英語 ー実践と可能性ー」第一回ワークショップ

「共通語としての英語」と文化を考える：
多文化共生時代にはどんな英語が必要か

“English as a Lingua Franca” and Cultures:

What English should we consider using to work with
people from different cultures?



2019年

6月14日(金)

時間：18:30 - 20:00

会場：東京家政大学 板橋キャンパス
161A 講義室 (16号館1階)

講師：瀧野みゆき先生

(東京大学・立教女学院短期大学 非常勤講師)

「共通語としての英語」が従来の英語とどう違うかを、特に異文化コミュニケーションに焦点をあてて議論し、意見を交換します。参加者のグループワークなどを交えながらのインタラクティブなワークショップです。

本ワークショップは英語と日本語で行います。

申し込みは下記のリンク、または右のQRコードよりお願いいたします。

<<https://forms.gle/7QzozaGSW7QHJMLM8>>

お問い合わせ：東京家政大学 英語コミュニケーション学科 <eigo@tokyo-kasei.ac.jp>

